

男女共同参画社会を形成するためには、社会全体の意識の醸成や一人ひとりの意識改革が必要です。そのためには、各主体（市民・市民組織・事業者・行政の4者）の協働が重要となります。

なぜ、協働？

○私たちがとりまく課題やニーズが複雑、多様化する社会においては、各主体が単独では解決できない問題が増加しています。このため、それぞれの特性を活かしながら補完しあって解決に導くために必要です。

○社会全体の意識の改革は、行政が一方向的に考え方を押し付けるものではありません。各主体が互いに助け合い、補い、理解し合うことで達成できるのです。

協働って？……

共通の目標に向かって、各主体が対等な立場に立ち、適切な役割分担のもと、協力して取り組み、その成果と責任を共有することです。単に「一緒にやる」のではなく、ともに考え、手を携えることによる相乗効果が期待できます。

基本理念

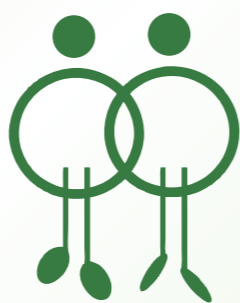
家庭、地域、職場で男女がともに尊重される
住みよいまち・ふくい



第4次男女共同参画基本計画における取組のポイント

- 市民・市民組織・事業者・行政が「主体的」に取り組みます。
- 市民・市民組織・事業者・行政が「協働」して取り組みます。
- 行政のすべての事業を男女共同参画の視点で推進します。

福井市男女共同参画シンボルマーク



男性と女性がお互いに手を取り合いながら豊かな社会に向かって歩むイメージを表現しています。

福井市第4次男女共同参画基本計画（平成24年3月）

編集・発行 福井市市民生活部 男女共同参画・少子化対策室

〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号
TEL: 0776-20-5353
FAX: 0776-20-5274
E-mail: danjo@city.fukui.lg.jp



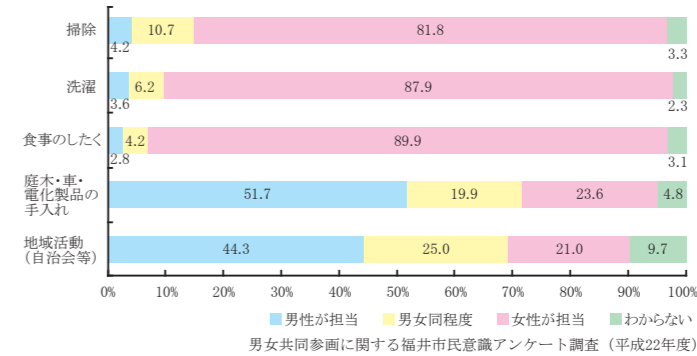
福井市第4次男女共同参画基本計画

<平成24年度～28年度>



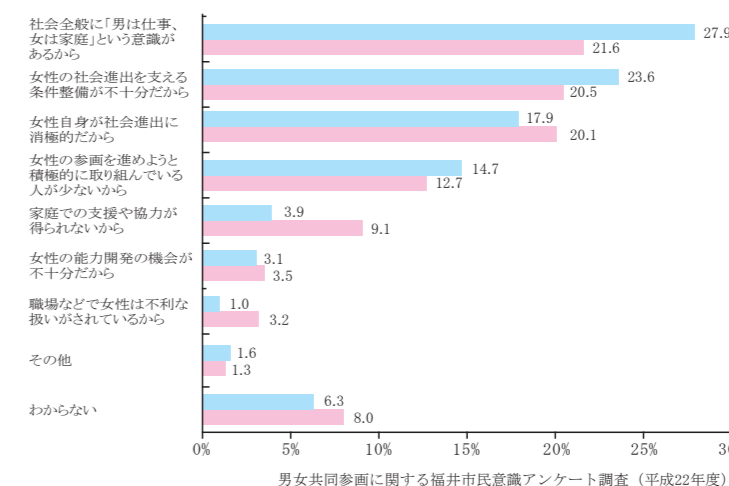
誰もが互いを尊重し、個性を生かしながらともに責任を果たし、豊かな人生を送るためにはどのようにしたらよいのでしょうか。

●家庭での男女の役割分担



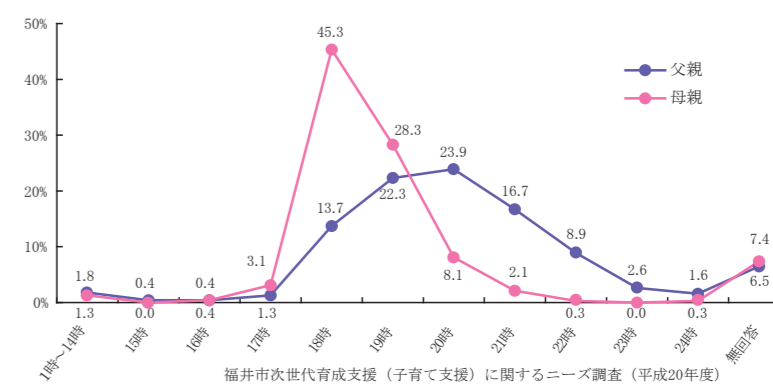
「食事のしたく」「洗濯」「掃除」においては、女性の担当している割合が80%以上と高く、日常的な家事は女性が担っていることがわかります。

●女性の社会参画が進んでいない理由



女性の社会参画が進んでいない理由では、「社会全般に男は仕事、女は家庭という意識があるから」の割合が最も高く、次に「女性の社会進出を支える条件整備が不十分だから」が続いています。

●フルタイム就労者の平均的な帰宅時間



小学6年生までの子どもがいる家庭におけるフルタイム勤務の父母の平均的な帰宅時間については、父母とも19時の前後2時間に集中しているものの、全体的に父親の帰宅時間が遅いことがわかります。

福井市の問題点

- 少子高齢化が進んでいる。また、共働き率が高いが経済社会を担う人口の比率は低い。
- 男性が家事や育児を担おうとする意識が低い。
- 性別による役割分担意識が特に男性や高齢者に根強く残っている。
- 家事はほとんど女性が担っているのが現状であり、未だ「男は仕事、女は家庭」の傾向が強い。
- 女性の社会参画が進まない理由について、条件整備が十分でないと考えられる人の割合が多い。
- 子育て家庭におけるフルタイム就労者の帰宅時間は、母親より父親が遅い。

どうすればいいの？